

関東大震災100年関連行事等調べ（報告）

（国の行政機関）

令和5年11月30日現在

【行事等】

1. 実施済み及び実施中

行政機関名	イベント名	実施時期 (開始日)	実施時期 (終了日)	実施場所	概要
総務省（消防庁）	こども震が関見学デー	令和5年8月2日	令和5年8月3日	総務省1階・地下	こども震が関見学デーで、地震や地震火災への対策の解説資料及び東京消防庁が保有する過去の地震被害の写真を展示するとともに、公益財団法人 東京防災救急協会の作成した関東大震災関係の動画を放映した。
	防火防災キャンペーン	令和5年9月1日	令和5年9月21日	全国の消防本部各地域	毎年、9月の老人の日・敬老の日の時期に防火防災キャンペーンを実施し、高齢者やその家族に対して火災予防の注意喚起を行っている。この機会に合わせて関東大震災100周年であることを踏まえ、地震火災対策についても、普及・啓発を実施。
	ぼうさいこくたい2023	令和5年9月17日	令和5年9月18日	横浜国立大学	防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）2023において公益財団法人 日本消防協会が主催したシンポジウム「横浜の関東大震災体験、そして今後の災害対応」に協力団体として参加した。パネリストとして消防庁国民保護・防災部長が参加し、関東大震災の被害や復興に伴うまちづくり、地域防災力の向上などの今後の大災害への備え等について議論した。
	令和5年秋季全国火災予防運動	令和5年11月9日	令和5年11月15日	全国の消防本部各地域	毎年、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、実施している火災予防運動の際に、関東大震災から100年であることも含め、地震火災対策について、普及・啓発を実施。テレビアニメ「め組の大吾 救国のオレンジ」の声優とタイアップしたポスターに関東大震災100年のロゴを入れて周知した。
	全国消防技術者会議の特別講演	令和5年11月16日	令和5年11月17日	三鷹市公会堂（光のホール）	全国の消防の技術者が消防防災の科学技術に関する調査研究、技術開発等の成果を発表するとともに、他の発表者や聴講者と討論を行う場として開催している全国消防技術者会議において、「関東大震災でなぜ東京は最大の被害を出したのか？一大火災の原因とその後」と題した特別講演が名古屋大学減災連携研究センターの武村雅之特任教授により行われた。
総務省（消防庁） ※各地域ブロック合同訓練 実行委員会	緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練	令和5年10月28日	令和5年11月26日	令和5年度開催地（全国6箇所実施。岩手県、山梨県、石川県、和歌山県、岡山県、福岡県）	緊急消防援助隊の技術及び連携活動能力の向上を図るため、大規模な地震等により、建物倒壊、土砂災害、火災、交通事故等が多発的に発生したことを想定した救助救出訓練を全国6か所で行う。※10/28～11/26のうち、各箇所2日間実施
内閣府（防災担当）	防災とボランティアのつどい	令和5年1月22日	—	全社協・瀬尾ホール（オンライン配信あり）	関東大震災発生時の救護活動を学び、現代に通じる被災者支援の課題や現在の災害ボランティア活動の広がりについて考える。
	国際復興フォーラム2023	令和5年1月27日	—	神戸国際会議場3階 国際会議室301（ハイブリッド開催）	「より良い復興（Build Back Better）と長期的な復興の成果：強靱で持続可能な未来への目標」をテーマに、100年前の関東大震災の教訓をはじめ、世界各地の大規模災害からの長期的な復興経験の教訓や、より良い長期的な復興成果を得るための優良事例等について、世界各国の防災関係者との議論を通じて世界へ発信。

内閣府（防災担当）	「防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム」（防テクPF）第6回マッチングセミナー	令和5年2月10日 令和5年6月1日	—	仙台市内（ハイブリッド開催） 高知市内（ハイブリッド開催）	災害対応を行う地方公共団体等のニーズと民間企業等が持つ先進技術のマッチングや効果的な活用事例の横展開等を行う場である「防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム」（防テクPF）を設置し、常設するウェブサイト運営するとともに、地方公共団体等と民間企業等が交流する場となるセミナーを開催。
	アジア防災世界会議2022	令和5年3月10日	令和5年3月12日	仙台市内（ハイブリッド開催）	ADRCは、2023年3月10日から12日にかけて、2022年度のアジア防災会議（ACDR2022）「WHAT IS NEXT? -過去に学び、未来に備える-」を、仙台市で開催（3月10日の会合はメンバー国およびアドバイザー国対象。主要会議は3月11日から開催）。本会議では、関東大震災に関するスペシャルセッションのほか、「大規模災害とその対策」、「仙台防災枠組の取組みにおけるデータ連携の拡大— GLIDE (GLobal IDentifier Number)の利用促進」、「衛星を活用した防災・危機管理情報の提供」といったセッションを実施。
	第8回防災推進国民大会（ぼうさいこくたい2023）	令和5年9月17日	令和5年9月18日	横浜国立大学	関東大震災の震源地でもあった神奈川県（会場：横浜国立大学）にて開催し、大会を通じて大震災の記憶の継承・防災意識の啓発を実施。
内閣府（防災担当）	令和5年度「津波防災の日」スペシャルイベント	令和5年11月5日	—	オンライン配信	令和5年11月5日（日）の「津波防災の日」「世界津波の日」に、「関東大震災から100年、これまでの災害経験を踏まえた津波の備え」をテーマとして、令和5年度「津波防災の日」スペシャルイベントを開催。
文部科学省 ※国立研究開発法人海洋研究開発機構	日本地震学会2023横浜	令和5年11月3日	—	はまぎんホール ヴィアマール	日本地震学会及び日本地震工学会主催の当該イベントにおいて、パネルディスカッションのコーディネーターを務め、「切迫する首都直下地震にどう備えるか—産学官の取り組み—」について議論。
文部科学省 ※東京国立博物館	特集 関東大震災と東京国立博物館	令和5年7月11日	令和5年9月3日	東京国立博物館本館特別2室	関東大震災当時の様子を伝え残す歴史資料や、実際に被災した収蔵品などを通して、東京帝室博物館における被害の実態を振り返る。
文部科学省 ※独立行政法人国立文化財機構	講演会「大災害時代の文化財防災—過去・現在・未来—関東大震災100年」	令和5年8月20日	—	東京国立博物館・平成館大講堂	災害大国日本において歴史と文化は守れるのか？本講演会では関東大震災から100年を迎えるにあたり、災害復興の過去を振り返り、今後の文化財防災を展望。定員350名（参加費無料・事前登録制）
農林水産省	関東大震災から100年～非常食の歴史と進化～	令和5年7月31日	令和5年8月10日	農林水産省北別館1階「消費者の部屋」	災害への備えを考えるきっかけとなるよう、関東大震災における食料事情の振り返り、軍用食にはじまり現在は宇宙食にまで進化を遂げた非常食の歴史と進化を紹介。また、食品の家庭備蓄に無理なく取り組むためのガイドや備蓄におすすめの長期保存可能な食品を展示し、災害時の即席めん活用術アレンジレシピの紹介等を実施。
	こども震が見学デーワークショップ 関東大震災100年関連イベント ～非常食を美味しくアレンジ～	令和5年8月2日	—	農林水産省本館7階講堂	災害時の非常食について、工夫しておいしく食べることを通じて日頃から備える大切さを学ぶ。 ・トマトスープでアルファ化米のリゾットをつくろう！ ・栄養満点 アレンジレシピカップめんをつくろう！
国土交通省	関東大震災ゆかりの地を巡るツアー	令和5年7月22日	令和5年7月23日	都立横網町公園、神田明神、東京大学地震研究所等の都内各所	関東大震災ゆかりの地をめぐり、被害状況、災害から得られた教訓、現在の東京をつくりあげた復興の軌跡から、逼迫する首都直下地震等の巨大地震に備えるについて皆様とともに考えるツアーを開催。
	関東大震災特別企画展	令和5年8月26日	令和5年8月28日	国営東京臨海広域防災公園	国営東京臨海広域防災公園にて関東大震災の被害状況や、復旧、復興の歴史、防災に関する新たな技術の展示などを通じ、巨大地震に対するさらなる備えについて今一度考えてもらうための特別企画展を実施。

国土交通省	関東大震災100年シンポジウム～関東大震災から学ぶ今後の都市・インフラ整備～	令和5年8月28日	—	東京ビッグサイト国際会議場	関東大震災で何が起こったのかを振り返るとともに、逼迫する首都直下地震等の巨大地震に対して、行政、民間企業、市民等が連携した今後のまちづくりやインフラ整備をいかにしていくべきかを考えるシンポジウムを開催。
国土交通省 ※国土技術政策総合研究所	土木の日2023一般公開	令和5年11月18日	—	・国土交通省国土技術政策総合研究所 ・国立研究開発法人土木研究所	漢数字の「十一」と「十八」を組み合わせると「土木」。今年も「土木の日」関連行事として、研究施設等の一般公開を国立研究開発法人土木研究所と共催し、一般公開では、各研究分野の地震対策に関する取組等をご紹介します。
国土交通省 ※国土地理院	国土地理院報告会	令和5年6月1日	—	日経ホール（東京：大手町）	関東大震災100年となる令和5年度は「関東大震災100年－国土地理院の防災・災害対応と最新の取組－」をメインテーマに、国土地理院からの取組報告のほか、外部講師による特別講演を実施。
	くらしと測量・地図展	令和5年6月7日	令和5年6月9日	新宿駅西口広場イベントコーナー	毎年「測量の日」関連イベントとして実施している【くらしと測量・地図展】において、関東大震災100年となる令和5年度は、関東大震災に関するパネルを展示。
国土交通省 ※国土地理院	企画展「関東大震災から100年」-地図に残る地殻変動と被災状況-	令和5年7月19日	令和5年10月1日	地図と測量の科学館	震災応急測図原図、関東震災地垂直変動図など、関東大震災による地殻変動や被災状況を記した地図を展示。
	第240回地震予知連絡会	令和5年8月31日	—	関東地方測量部	重点検討課題として「関東地震」に関連した議論を実施。
国土交通省 ※関東地方整備局	関東大震災100年の取り組み	令和5年1月16日	令和5年9月30日	茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県	首都直下地震に切迫性が指摘されるなか、関東大震災100年にあたり、「連携・実践・わがこと化」の取り組み（シンポジウム、パネル展など）を各地域で実施。
	令和5年度首都直下地震防災訓練	令和5年8月3日	—	東扇島地区基幹的広域防災拠点（川崎市川崎区東扇島東公園）	・活動要員及び作業員参集：ヘリコプター・業務艇による要員参集 ・帰宅困難者輸送：船舶による帰宅困難者の輸送 ・緊急確保航路啓開：漂流物の回収・撤去、海底障害物探査など ・緊急支援物資海上輸送：船舶による緊急支援物資の海上輸送
	令和5年度首都直下地震防災訓練（道路啓開訓練）	令和5年8月3日	—	東京臨海広域防災公園（有明の丘基幹的広域防災拠点施設）	関東大震災100年の取組として、首都直下地震対応訓練（道路啓開訓練）を実施。首都直下地震に備え、道路啓開計画の八方向作戦の実効性を高めるため、新技術・多様な手段により被災状況や交通状況を迅速かつ確実に把握・共有するとともに、関係機関と連携し、道路啓開作業を行う実動訓練。
国土交通省 ※関東地方整備局	船でめぐる港の関東大震災	令和5年11月18日	—	神奈川県	関東大震災ゆかりの地をめぐり、被害状況、災害から得られた教訓、現在の神奈川をつくりあげた復興の軌跡から、逼迫する首都直下地震等の巨大地震に備えについて皆様とともに考えるツアーを開催。
国土交通省 ※都市防災推進協議会	令和5年度都市防災推進協議会研修会～関東大震災100年記念～	令和5年11月21日	令和5年11月22日	岐阜市役所他（オンライン配信あり）	都市防災推進協議会会員向けに、1日目講演会、2日目現地見学を実施。（今回のみ、1日目の講演会に、非会員の地方公共団体もオンラインにて参加可能）
気象庁	～関東大震災から100年～ 知って備えよう 過去の災害から学ぶ	令和5年7月7日	令和5年11月30日	気象庁本庁2階 気象科学館	今年も関東大震災から100年。過去の災害から学び、改めて地震・津波への備えを再確認いただくためのポスター展。小学生のお子さんでも一人で読めるような分かりやすい内容となっている。

	親と子の地震実験教室 (地震調査研究推進本部と連携実施)	令和5年8月24日	—	横浜地方気象台	小学生以上を対象に、お菓子等を使った実験を通じて地震による揺れや耐震等を楽しく学ぶ実験教室を開催。
気象庁	「関東大震災から100年」特別展示	令和5年9月1日	未定	横浜地方気象台	関東大震災から100年に関する観測記録や被害写真等の特別展示「あの日を忘れずにその日に備える」及び防災専門図書館と連携した展示を公開。

2. 今後の予定

行政機関名	イベント名	実施時期 (開始日)	実施時期 (終了日)	実施場所	概要
内閣府（防災担当）	「防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム」(防テクPF) 第8回マッチングセミナー	令和5年12月1日	—	静岡市内（ハイブリッド開催）	災害対応を行う地方公共団体等のニーズと民間企業等が持つ先進技術のマッチングや効果的な活用事例の横展開等を行う場である「防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム」(防テクPF)を設置し、常設するウェブサイトを運営するとともに、地方公共団体等と民間企業等が交流する場となるセミナーを開催。
国土交通省	令和5年度復旧・復興まちづくりサポーター連絡会議－関東大震災から100年 大規模災害に備えるための復興まちづくりイメージトレーニング－	令和6年1月17日	令和6年1月17日	三田共用会議所	地方公共団体の復興事前準備の取組みの推進を図るため、「復興まちづくりイメージトレーニング」の必要性についての講演及び、実施方法を学ぶためのグループワークを実施する。
国土交通省 ※国土技術政策総合研究所	令和5年度国総研講演会	令和5年12月14日	—	東京証券会館（オンライン配信）	近年激甚化・頻発化している地震災害への対策について、国総研が取り組んでいる最新の研究を紹介する。

以上

関東大震災100年関連行事等調べ（報告）

（国の行政機関）

令和5年11月30日現在

【広報誌等】

1. 実施済み及び実施中

行政機関名	掲載する広報誌・ホームページ名	掲載時期	概要
総務省（消防庁）	「関東大震災100年」特設ページ	令和5年7月5日～	関東大震災の概要をはじめ、地震発生時に取りべき行動についての啓発資料、地震火災対策の啓発資料、自主防災組織や消防団等の防災に関する組織に関する情報、火災旋風の実験映像等を掲載。
	広報誌「消防の動き」629号	令和5年9月1日	関東大震災100年に関する消防庁の取組等を掲載。
	消防大学校の機関誌「消防研修」第113号	令和5年9月	関東大震災100年をテーマに有識者による地震対策等に関する寄稿、国や地方公共団体の取組等を掲載。
内閣府（防災担当）	「関東大震災100年」特設ページ	令和5年1月20日～	関東大震災の関連資料や報告書等を掲載するとともに、行政機関や各種団体等による関東大震災100年関連行事の予定等を集約・発信する。また、関連する行事等において広く使用いただけるよう、関東大震災100年の共通ロゴマークも設定し掲載。
	広報誌「ぼうさい」第106号	令和5年3月17日	2023（令和5）年、広報誌「ぼうさい」第106号～第108号の特集記事では、100年前に発生した関東大震災に関して、様々な角度からスポットを当てて、「あの時その場所で何が起きていたか」を振り返る。 「東京の大火災」の印象が強い関東大震災であるが、揺れによる倒壊、液状化、津波、土砂災害など、様々な被害を広範囲にわたって記録しており、第106号ではこうした「火災以外の被害」にスポットを当て、関東大震災を振り返る。
	広報誌「ぼうさい」第107号	令和5年7月7日	約10万5,000人の犠牲者のうち9割が焼死であったことからわかるように、被害を大きくしたのは同時多発的に発生した火災と、炎がもたらす火災旋風だった。第2回では当時東京や横浜に甚大な被害をもたらした火災を中心に、「あの時その場所で何があったのか」を振り返る。

内閣府（防災担当）	広報誌「ぼうさい」第108号	令和5年11月20日	約10万5,000人も犠牲者を記録した震災から被災地である東京や横浜はどのように復興したのか。そして関東大震災の教訓はその後のまちづくりにどのように生かされたのか。その流れを振り返り、現在の防災まちづくりの進展と課題も含めて整理。
文部科学省	広報誌「Blue Earth」にて特集	令和5年3月発行	大正時代に首都圏を襲ったマグニチュード（M）7.9の巨大地震による関東大震災は、死者・行方不明者10万5,000人以上と、日本の自然災害史上、最多の犠牲者を出した。首都圏を襲う次の大地震はいつ起きるのか。関東を襲う大地震・津波についての理解と備えはどこまで進んでいるのか。
国土交通省	ウェブマガジン「Grasp」	令和5年9-10月	世界有数の地震多発国・日本。1923年9月1日に起きた「関東大震災」から100年目となる今年、来るべき大震災から命を守るために、今私たちができること、すべきことは何かを、専門家や被災経験者の方のインタビューを通して考える。
国土交通省 ※国土技術政策総合研究所	「関東大震災100年に関連した国総研の取組」特設ページ	令和5年7月10日～	関東大震災100年関連して国総研が主催・参加する行事の情報と、地震対策に関する国総研の取組を、当ページに集約して掲載。
国土交通省 ※国土地理院	関東大震災特設ページ	令和5年5月9日～	震災応急測図原図、関東震災地垂直変動図など、関東大震災による地殻変動や被災状況を記した地図の閲覧や「関東大震災100年—国土地理院の防災・災害対応と最新の取組—」をメインテーマとする国土地理院報告会等を紹介。
国土交通省 ※関東地方整備局	関東大震災100年の取り組み	令和5年5月15日～	首都直下地震に切迫性が指摘されるなか、関東大震災100年にあたり、管内各地で行う「連携・実践・わがこと化」の取り組み（シンポジウム、パネル展など）の情報を掲載。
気象庁	「関東大震災から100年」特設サイト	令和5年1月4日～	関東大震災を振り返るとともに、今後の地震に適切に備えていただくために必要な防災知識等に関する情報を掲載。

気象庁	特設サイト「関東地震から100年」～あの日を忘れずに、その日に備える～（横浜地方気象台）	令和5年1月4日～	特設サイト開設。
	「関東大震災から100年」子ども向けサイト（東京管区気象台）	令和5年5月30日～	100年前に起きた関東大震災がどんな地震だったのか、それによってどんなことが関東に起きたのかを、子どもが学べるサイト。地震が起きたらどうすればよいかも紹介している。
	気象業務はいま2023	令和5年6月	気象業務の全体像について広く知っていただくことを目的として毎年刊行している「気象業務はいま」において、関東大震災から100年を迎えることから、「気象庁における巨大地震対策」について紹介。

以上

関東大震災100年関連行事等調べ（報告）
（国の行政機関）

令和5年11月30日現在

【事業等】

1. 実施済み及び実施中

行政機関名	事業名	実施時期	概要
内閣府（防災担当）	「災害への備え」コラボレーション事業	令和5年4月28日～	<ul style="list-style-type: none">・内閣府と民間企業等がコラボレーションすることにより、平素の事業活動を通じた広汎な普及啓発を行い、国民・家庭・事業所のレベルでの防災意識を高め、日常生活における「災害への備え」を促進。・令和5年9月4日までに賛同申請をし、手続きが完了した企業・団体を紹介。・「ぼうさいこくたい」に出展し、賛同企業と「災害への備え」に関するパネルディスカッションを実施。

以上